

令和8年4月以降の サービス施策について

松江市交通局

(松江市地域公共交通運賃協議会協議資料)



1. 松江地区乗合バス事業共同運行計画の策定

(1) 背景・経緯

①松江市内の路線バスは、全国同様に昨今の運転士不足により、路線廃止・減便を余儀なくされ、利用者に不便を強いる状況が発生



②路線廃止・減便に歯止めをかける必要



③市交通局と一畑バスが連携し、利便性を損なうことなく運転士及び車両の効率化を図るとともに相互にフォローするバックアップ体制を確保する（注1）ほか、約30年ぶりの運賃改定（消費税改定を除く）を併せて実施（注2）し、「安定的で持続可能な路線バス運行」を実現



共同運行計画の策定＝「あたかも1社」で運行しているかのようなサービス提供の実現

注1：①川津線・八雲線での共同運行、②川津～松江駅間、松江駅～鼻曲間での日中時間帯の共同運行、③時刻表の一元化、④ラッシュ時間帯の運行間隔の調整、⑤バス停間所要時分の統一

注2：市街地ゾーン均一運賃＋対キロ区間運賃の導入

(2) 実施日 令和8年4月1日



2. 令和8年4月1日以降のサービス施策

(1) あたかも1社によるサービス提供とは

- ①どちらのバスに乗っても安心してご利用いただける環境作り = 同じサービスを提供
- ②**定期券・乗車券等の統一**を図る必要

(2) 定期券・乗車券の統一

①通学フリー共通定期の導入

- ・松江市内の市営バス、一畑バス全路線が乗り放題となる「**通学フリー共通定期券**」の導入
1ヶ月：中学生以上7,000円、小学生以下3,500円

※事業者は、主たる乗車区間を通常の金額式通学定期として発行。旅客は上記金額を負担し、差額分は市が事業者に補助

②各社独自の乗車券の見直し

- ・これまでも「**一畑バス（市営バス）では使えない**」といった苦情が寄せられていた
- ・「あたかも1社」での運行開始に向けて**整理が必要**
- ・2社局が「安定的で持続可能な運行」を実現するためには、**経営面での検討も必要**



2. 令和8年4月1日以降のサービス施策（2）

③市交通局独自の定期券・乗車券の見直し

・のりほSP

運用開始	平成24年4月1日
内 容	レイクラインを除く市営バス全線1ヶ月間（1日～月末）乗り放題 1ヶ月：中学生以上5,000円、小学生以下2,500円
見直し案	廃止（一畑バスも使える通学フリー共通定期導入に伴い、実質的には制度拡充）

・松江だんだんバス

運用開始	平成20年12月1日
内 容	65歳以上の松江市民を対象とした市営バス全線乗り放題定期 1ヶ月 5,000円、3ヶ月13,000円、6ヶ月20,000円
見直し案	廃止



【参考】令和8年4月1日以降のサービス施策（3）

（3）その他

●定期券WEB購入システム導入

インターネットで定期券が購入できるシステムを導入することで、
利用者は窓口へ出向くことなく定期券の購入が可能となり利便性が高まります。



●バス接近情報動的データ導入

路線バスのリアルタイム運行情報（位置、遅延、運休など）を公開し、本市への来訪者を含め閲覧者の多いGoogle Mapなどの地図提供サイトや経路検索情報提供サイトに、現在の時刻、ルート検索機能に加え、路線バスの遅延などリアルタイムな情報を提供できるようになり、利用者の安心感、信頼感の向上を含めた利便性が高まります。

